

VI 流通・販売

農産物等の海外輸出

○輸出の取組み

本格的な人口減少社会を迎え、将来的に国内マーケットの縮小が見込まれる中、海外では、アジア地域での富裕層の増加や日本食ブームを背景に魅力あるマーケットが形成されつつあります。

県では、岐阜県農林水産物輸出促進協議会(事務局：J A全農岐阜)と連携し、飛騨牛・柿・鮎を中心に県産農畜水産物の輸出促進に取り組んでいます。

【平成30年度の主な取組み】

◆香港〔トップセールス〕

- ・高級百貨店「YATA」と農産物ブランド化に係る覚書を締結（11/11）
- ・新装開店したYATA本店で農産物販売イベントを開催（11/7～13）
- ・ミシュラン星付きレストランを飛騨牛海外推奨店に認定（11/10）



「YATA」との覚書締結
(H30.11.11 香港)

◆ベトナム〔トップセールス〕

- ・海外では初となる県産鮎ワークショップを開催（11/14）



県産鮎ワークショップ
(H30.11.14 ベトナム)

◆オーストラリア

- ・オーストラリア向け飛騨牛輸出出発式を開催（7/19）
- ・単独ブランド牛では全国初となる現地プロモーションを開催（8/28）

◆フランス

- ・レストラン「ダローザ」による県産食材(※)メニュー開発（通年）
※岐阜いちご、飛騨牛、飛騨もも、岐阜えだまめ、岐阜柿、飛騨やまっこ

◆アメリカ

- ・岐阜柿を初輸出し、現地レストランでのフェアを開催（11/28～12/2）

◆インドネシア

- ・イスラム圏初の飛騨牛メニュー化に伴う披露会を開催（7/6）



オーストラリア向け
飛騨牛輸出出発式
(H30.7.19 高山市)

○主要品目の輸出実績（推移）

品目/年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30※
飛騨牛(t)	-	-	-	-	0.3	0.5	1.1	1.3	2.0	9.5	16.1	23.5	24.6	43.2	42.0
柿(t)	0.5	9.8	21.6	8.0	11.1	9.0	10.0	4.9	34.0	23.7	21.5	47.2	43.6	53.1	48.2
鮎(t)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01	0.07	0.42	1.04	1.22	1.40

※12月末現在 県農産物流通課調べ

○岐阜県農林水産物輸出促進協議会

県産農産物等の輸出拡大に向け、農業団体・食品産業団体・商工業団体などにより、平成16年9月に設置された組織（構成：9団体）

JA全農岐阜、岐阜県園芸特産振興会、飛騨牛銘柄推進協議会、岐阜県漁業協同組合連合会
岐阜県食品産業協議会、岐阜県商工会連合会、JETRO岐阜、岐阜県産業経済振興センター、岐阜県

首都圏等での販売促進

○首都圏での販売促進の取組み

情報発信力の高い首都圏において、様々なチャンネルを利用し、飛騨牛、鮎、富有柿などの効果的なPRやイベントを実施しており、消費者認知度（ブランド力）のさらなる向上や販路の拡大につながっています。

首都圏での飛騨牛取扱店舗数の推移（H31.1月末現在）

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
飛騨牛取扱店	28	41	49	59	72	97
飛騨牛料理指定店	14	15	16	16	15	14

※飛騨牛料理指定店

飛騨牛銘柄推進協議会が以下の（1）もしくは（2）の要件を満たしたものを認定する。

- （1）飛騨牛販売指定店より飛騨牛のA5・B5をおおむね年間3頭以上購入し、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。
- （2）飛騨牛を販売指定店より購入し、常時飛騨牛のA5・B5のみを使用していて、飛騨牛のイメージアップにふさわしい料理店。

【販売促進施策実施状況等】

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、飛騨牛をはじめとする県産農畜水産物のブランド力向上を図るため、首都圏のホテル・レストラン等を対象に各種PR活動を展開しています。

1 「清流の国ぎふ」おもてなし食材披露会（平成30年8月3日）

東京オリンピック・パラリンピック大会関係団体やケータリング事業者、ホテル・レストラン関係者を招待し、「清流の国ぎふ」おもてなし食材（11品目※）を使用した料理の試食会を開催。

生産者とのマッチングを図るための食材セミナーを同時開催。

※米、トマト、ほうれんそう、だいこん、えだまめ、こまつな、茶、飛騨牛、豚、鶏、鮎

2 清流長良川の鮎フェア in Tokyo（平成30年8月9日～31日）

首都圏で初めてとなる清流長良川の天然鮎「郡上鮎」を使用したメニューフェアを、東京都内の高級料理店5店舗で開催。

3 県産食材産地見学会（平成31年9月12日～13日）

ホテル・レストランの料理長、仕入れ担当者などを岐阜県に招聘し、生産施設等の視察や生産者との交流を通じて、県産農畜水産物の特長や安全な生産管理等についての理解促進を図るための産地見学会を開催。

4 高級果実専門店での果宝柿等の販売フェア（平成30年12月8日～9日）

東京都内の高級果実専門店「サン・フルーツ」において、果宝柿、袋がけ富有柿の販売フェアを開催。

5 飛騨牛メニューフェア（平成31年2月1日～28日）

新たに飛騨牛の取扱いを開始した東京都内のホテル・レストラン12店舗において、「飛騨牛メニューフェア」を開催。



「清流の国ぎふ」おもてなし食材披露会
(H30.8.3、ホテルニューオータニ)



鮎フェアオープニングイベント
(H30.8.9 八芳園)



県産食材産地見学会
(H30.9.13 高山市)

○地理的表示保護制度（GI）の活用促進

地理的表示保護制度（GI）の活用を促進し、全国GIサポートデスクと連携して対象品目の洗い出し及び登録を目指す団体の登録支援を行っています。

- <登録状況>・奥飛騨山之村寒干し大根（すずしろグループ） 登録日：平成29年11月10日
・堂上蜂屋柿（美濃加茂市堂上蜂屋柿振興会） 登録日：平成29年12月15日

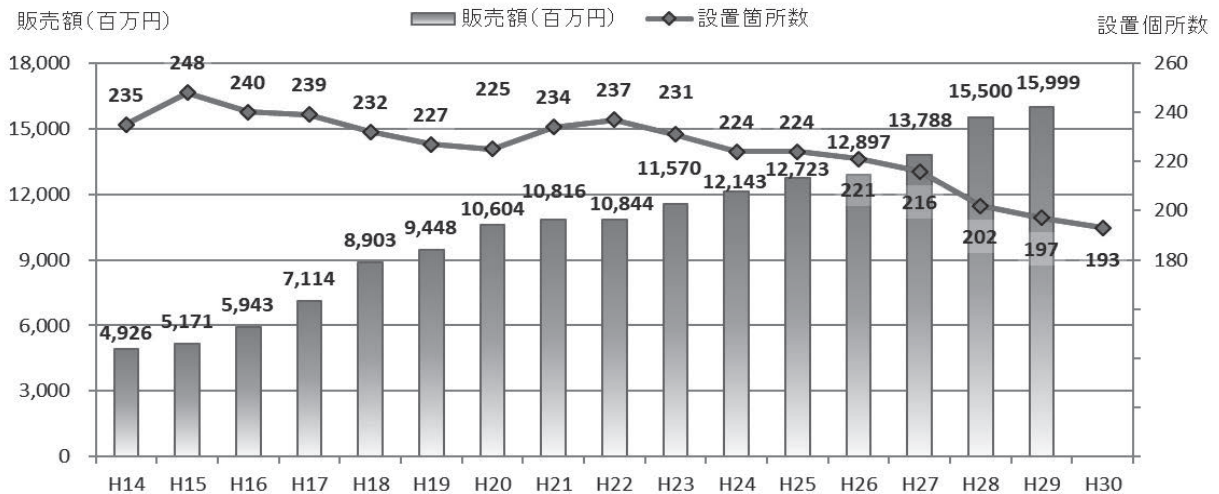
地 産 地 消

○農産物直売所は193箇所

県内の農産物直売所は、新鮮で安全、安心な農産物を求める消費者ニーズの高まりとともに各地域で開設されています。しかし、大型直売所への統廃合や組合員の高齢化等により平成15年度の248箇所をピークに減少傾向にあり、平成30年6月現在193箇所となっています。

一方、販売額は年々増加しており、平成29年度は大型直売所における来客者及び売上増加により前年と比べ、約5億円増の160億円となりました。

朝市・直売所等の設置数と販売額の推移



県農産物流通課調べ

注) 調査対象：①有人販売、②定期開催、③複数の地元農家が出荷し開催している直売所

○学校給食での県産農産物の利用状況

学校給食での県産農産物の使用割合は、米では100%（岐阜県の銘柄米であるハツシモ、コシヒカリ）、小麦粉では50%以上となっています。

利用率の低い畜産物や、野菜及び果実の使用を促進するため、学校給食地産地消推進事業の助成対象の範囲を拡大するなどの取組みにより、県産農畜産物の使用割合は、品目ベースで平成29年度に34.1%、県内産の野菜及び果実では重量ベースで平成29年度に22.9%となっています。

学校給食における県内産農産物の使用割合(%) (品目ベース)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
岐阜県	26.0	27.6	27.8	31.6	29.4	31.0	29.1	31.3	27.3	34.1
全国平均	23.4	26.1	25.0	25.7	25.1	25.8	26.9	26.9	25.8	26.4

県教育委員会体育健康課調べ

県内産の野菜及び果実の利用割合(%) (重量ベース)

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
県内産	19.5	19.0	20.1	22.3	22.4	23.7	23.0	22.9	21.4	22.9

県農産物流通課調べ

注1) (22年度まで) 岐阜市の青果物使用実績を基に県全体の青果物総使用量を算定

注2) (23年度) 学校給食地産地消推進事業 使用実績報告数値(県内産野菜・果実等使用量)

注3) (24年度以降) 野菜・果実等使用量調査結果

食 農 教 育

○食農教育の推進

平成 18 年 4 月 1 日に岐阜県食育基本条例が施行され、家庭、学校、医療機関、農林業者、食品関連事業者、消費者団体、行政機関等食育に関わる全ての関係者が、相互理解を深めながら連携、協働して食育を推進するため、「岐阜県食育推進基本計画（第 1 計画／平成 19 年 3 月策定）」、「第 2 次岐阜県食育推進基本計画（平成 24 年 3 月策定）」に続き、平成 29 年 3 月に「第 3 次岐阜県食育推進基本計画（計画期間：平成 29～33 年）」を策定しました。

県民の参加と協働で食農教育を推進しており、各地域で食育推進ボランティアが地域の食文化を題材にした講習会や農の体験を通じた食育に取り組んでいます。

地域実践活動の実績

年 度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
団体数(団体)	3	3	5	5	4	4	4	4	4	4
開催回数(回)	129	156	163	176	176	192	181	233	183	197
参加人数(人)	8,286	10,613	7,412	9,278	7,998	7,845	6,691	9,226	7,828	8,120

県農産物流通課調べ

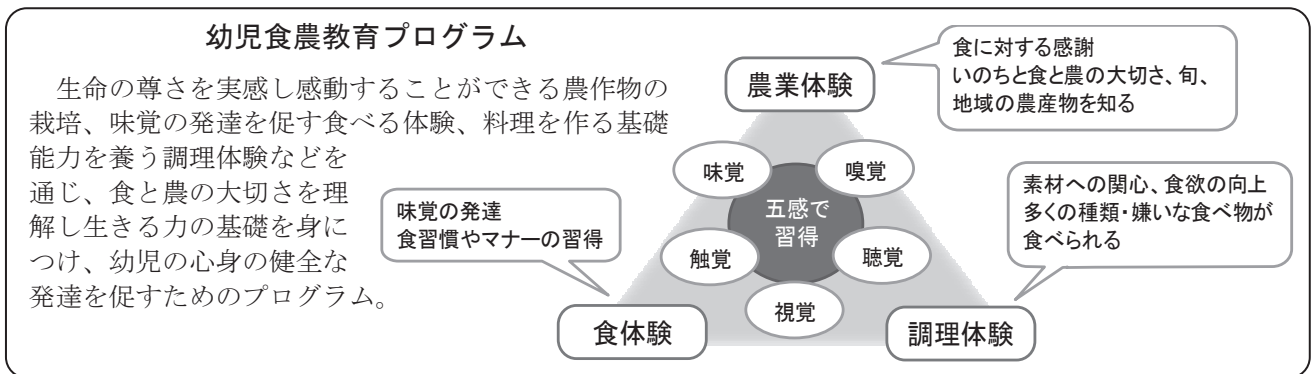
- H20～21：食農教育実践支援事業
- H22～25：食農教育実践支援事業・教育ファーム活動支援事業
- H26～28：食農教育実践支援事業・幼児食農教育推進事業 等
- H29：地域の魅力再発見食育推進事業

○幼児に対する食農教育の推進

「幼児食農教育プログラム（平成 19 年策定／平成 23 年改訂）」を、県内幼稚園や保育施設等へ普及するとともに、幼児及び児童用調理器具の貸出しを行い、体験を通じた食農教育を推進しています。

調理器具貸出実績

年 度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
団体数(団体)	9	9	12	9	9	10	10
回数(回)	11	12	14	10	11	13	15



○大学生に対する食農教育の推進

青年層を対象とする取組みとして、岐阜市の枝豆産地の協力のもと、岐阜市立女子短期大学の学生を対象に食農教育活動を実施しています。平成 30 年度は 11 人の学生が参加し、枝豆の定植や収穫、収穫祭のスタッフなどを体験し、枝豆や生産者への理解を深めました。

6 次 産 業 化

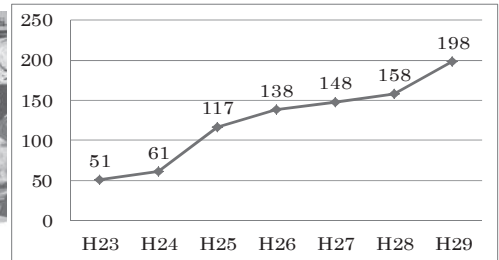
○農業の6次産業化

6次産業化とは、農林漁業者が自ら生産（1次産業）した農林水産物を使って、加工（2次産業）や販売（3次産業）を一体的・主体的に行う取組みのことで、付加価値の向上や流通マージンの削減により、農林漁業者の所得向上につながることを期待されています。

県内での6次産業化の取組みのすそ野は着実に広がっており、平成20年度から平成29年度までに県の支援策等を活用して、198品目の新たな加工品が開発されています。

【最近開発された商品例】

- ・にんじんペースト（各務原市）
- ・餅（養老町）
- ・鹿肉のロースト（大野町）
- ・野菜入り豚汁の素（郡上市）
- ・きな粉（瑞浪市）
- ・パパイヤ葉茶（高山市）
- ・大根ピクルス（高山市）



開発された加工品数（累積）

○岐阜県6次産業化サポートセンターの設置

県では、農林漁業者が6次産業化に取り組むうえで発生する課題解決のために、岐阜県6次産業化サポートセンターを設置し、コンサルタントや加工品製造などの専門家（プランナー）の派遣、人材育成研修を実施しています。

○清流の国ぎふ産直市場「ジ・フーズ」の運営

6次産業化を推進するにあたり、消費者ニーズを的確に捉え、ターゲットを明確にした商品企画力の向上や販売先の確保、効果的なプロモーションの展開などが課題となっています。

このため、県では、農林漁業者が6次産業化商品のテストマーケティングを行い、既存製品のブラッシュアップや新商品開発につなげる場として、名古屋市栄地区にアンテナショップを設置しています。

【概要】

- ・名称： 清流の国ぎふ産直市場ジ・フーズ（g. i. Foods）
- ・場所： 名古屋市東区東桜 オアシス 21
- ・設置： 平成26年8月1日（平成28年1月10日一時閉店）
平成28年5月7日リニューアルオープン
- ・規模： 約150㎡
- ・内容： 6次産業化商品のほか、生鮮野菜・果実、地酒、美濃焼、刃物など約1,000品目を販売



ジ・フーズ外観

○6次産業化商品のPRおよび技術交流会の開催

6次産業化商品の販路拡大に向けた認知度向上を目的として、消費者向けのPRイベント「農家で作るこだわり商品フェア（平成31年1月19～20日）」を開催し、6次産業化商品を販売すると共に、調理専門学校 학생による6次産業化商品を使ったレシピグランプリを実施し6次産業化商品をPRしました。

また、「岐阜県6次産業化の集い（平成31年2月26日）」において、県内の6次産業化事業者、バイヤー等の技術交流会を開催しました。

○その他支援

農林漁業者が、加工品を製造する際に必要となる設備・機械等の整備を支援する「6次産業化ネットワーク活動補助金」及び「農業6次産業化促進支援事業」を設けるとともに、商品の販路拡大を支援するため、商談会を継続して開催しています。

農産物流通

卸売市場取扱金額は915億24百万円

平成29年度の県内卸売市場の取扱金額は、青果物が592億円、水産物が148億円、食肉が154億円、花き・その他が21億円で、合計915億円（前年比95%）となっています。（中央卸売市場及び地方卸売市場の計。類似市場は除く。）

県内卸売市場取扱金額の推移

（単位：億円）

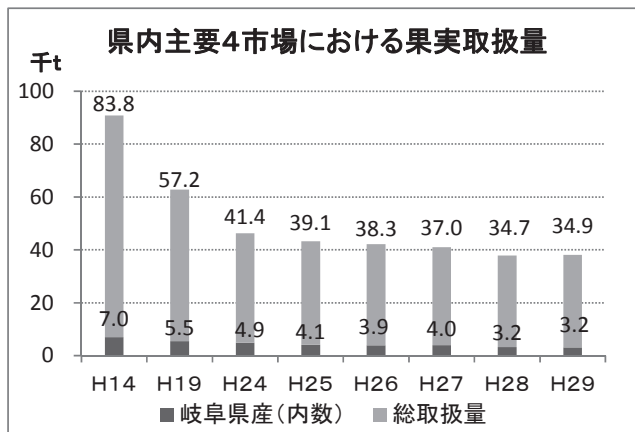
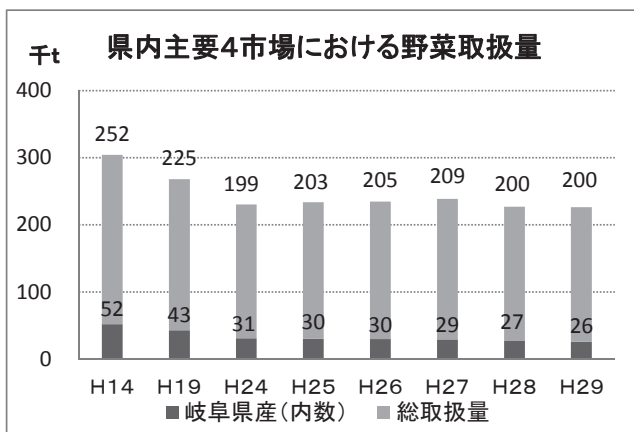
年 度	平成14	平成19	平成24	平成27	平成28	平成29
青果物	769.56	650.94	565.46	610.42	623.83	591.69
水産物	401.60	290.59	193.07	178.39	163.33	147.88
食 肉	111.61	143.53	126.40	144.69	151.39	154.43
花き・その他	43.93	31.75	27.13	23.48	22.20	21.24
合 計	1,326.70	1,116.81	918.18	953.56	960.75	915.24

県農産物流通課調べ

○卸売市場における県内産青果物の市場占有率は、野菜 12.9%、果実 9.2%

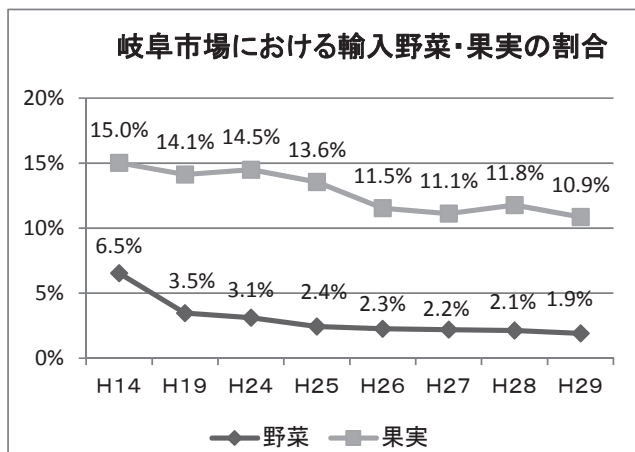
県内主要4市場（岐阜市中央卸売市場、大垣市、高山市、可児市の地方卸売市場）の取扱量は、野菜が200千t、果実が35千tとなっています。

また、そのうち岐阜県産の取扱量は、野菜が26千t（市場占有率12.9%）、果実が3.2千t（市場占有率9.2%）で、岐阜県産の市場占有率は野菜・果実とも減少で推移しています。



○卸売市場における輸入青果物の割合は横ばいで推移

岐阜市中央卸売市場における輸入青果物の取扱数量は近年ほぼ横ばいで推移しています（野菜1.9%、果実10.9%）。



県農産物流通課調べ

○青果物等の市場群別共販額

県内青果物等の市場群別共販額の推移

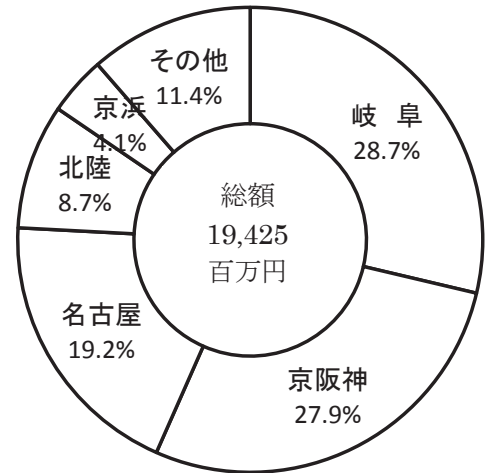
単位：百万円

市場群	平成 12	平成 17	平成 22	平成 28	平成 29
岐 阜	7,320	6,075	6,060	5,803	5,572
京阪神	7,988	6,647	5,909	6,124	5,425
名古屋	4,476	4,167	3,096	3,924	3,733
北 陸	4,009	2,981	2,335	1,716	1,690
京 浜	1,590	1,362	1,000	974	792
その他	777	837	1,929	2,074	2,213
総額	26,160	22,069	20,328	20,615	19,425

(四捨五入により合計が一致しないことがあります)

県農産物流通課調べ

同左の市場群別出荷割合（平成29年度）



○青果物等銘柄品共販の推移

本県では、平坦地から高冷地まで変化に富んだ自然条件と、大消費地に近い流通条件を活かした園芸振興を基本として、J A等系統組織を通じて県内外の市場へ出荷されています。

岐阜県青果物等銘柄共販数量及び金額の推移

金額単位：t、千本、百万円

年 度		平成 12 年		平成 17 年		平成 22 年		平成 28 年		平成 29 年	
区分	項 目	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
野菜	トマト	23,345	7,179	21,557	5,872	17,637	5,839	21,082	6,504	19,238	5,874
	ほうれんそう	8,847	4,954	8,823	5,007	8,351	5,127	8,020	5,273	7,436	4,930
	いちご	3,146	2,958	2,198	2,126	1,742	1,584	1,249	1,409	1,221	1,442
	だいこん	16,185	1,660	11,322	1,015	7,176	774	6,995	929	6,748	723
	えだまめ	1,726	1,003	1,501	878	1,041	762	1,006	793	990	725
	きゅうり	3,165	774	3,063	743	2,787	755	2,424	711	2,404	658
	にんじん	5,204	516	4,346	454	3,056	430	2,592	362	2,972	376
	なす	1,666	304	1,167	224	743	191	630	173	537	150
	たまねぎ	1,598	72	831	61	436	39	690	46	597	37
	さといも	389	65	218	35	173	34	370	69	348	65
	メロン	91	30	43	20	47	20	31	15	30	16
果樹	かき	7,836	1,463	7,584	1,157	3,245	1,100	4,349	1,129	3,855	990
	なし	545	117	544	103	135	42	110	32	123	32
	もも	317	95	230	61	114	52	135	59	126	53
	みかん	457	76	529	36	107	22	298	37	161	30
	くり	99	36	74	38	52	21	42	32	43	34
	りんご	69	15	113	30	94	18	97	23	147	29
特産	荒茶	426	557	441	555	294	336	241	235	210	224
花き	花き	8,373	566	6,954	485	5,418	423	3,285	332	2,984	295
合 計		—	22,440	—	18,900	—	17,569	—	18,163	—	16,683

(「いちご」はH21以降「夏いちご」を含む。) 県農産物流通課調べ